



空き店舗の有効活用——中町ミニ劇場

〔質疑〕今後の地籍調査の見通しについて伺いたい。
 〔答弁〕平成18年度は越河地区の223haの予定で、平成17年度末現在で80・08%である。18年度の越河地区を終えた場合81%の進捗率となる。旧町内に入る予定は、平成22年度で、平成26年度に完了する予定である。

教育民生所管

内の商店に来た方々のために、フリーに休んでいただいたり、イベントの際にスペースとして活用をし、音楽をする方達に練習の場として貸し出している状況である。

〔質疑〕精神科医派遣委託料の内容について伺いたい。

〔答弁〕精神医療センターと委託契約し、健康センターに精神科医の派遣を受け、在宅で認知症と思われる方や精神に問題をかかえている方の相談及び訪問指導を行うための委託である。

〔質疑〕博物館建設について市民の盛り上がりがあると判断したのは、署名簿の人数によるものなのか伺いたい。

〔答弁〕署名簿の人数はもろんのこと、市民によって組織された団体が自主的に署名運動・フォーラムなどを開催している点、収蔵すべき資料の散逸と散在防止の観点から寄贈と寄託される物件が増えている状況など期待感が大き

くくなっており、さらに市民から浄財の寄附が出てきていることから盛り上がりが多くなっていると判断した。

〔質疑〕国民健康保険税の収納率を90%見込んだのには無理がないのか。

〔答弁〕税収確保のため助役を本部長に市税等滞納整理対策本部を設置し、全庁上げて一丸となって収納に取り組んでいることや厚生労働省で90%を割ることは危機感があるため、その辺も参考に目標値として見込んだ。

建設水道所管

〔質疑〕市道川西東線吊橋撤去工事について、住民の納得が得られているのか。

〔答弁〕吊り橋は、支柱・踏板のいたみ、振止めゆゆるみなどによる老朽化から、安全性が確保されていないため撤去せざるをえないとお話ししたところ、東・塩倉地区の皆様から、自ら架け維持してきた愛着心と合わせて、児童・

生徒・高齢者などの交通弱者救済のため、架け替えてほしいとの要望があった。これに対し、橋の架け替えについては、概算で4千万円を要する。該当する補助事業もないため単費となる。単費では継続事業となるが、吊り橋工事は短期間に集中投資となるため、継続事業になじまない。最近、国土交通省では、歩道整備の基準を児童・生徒30人以上としていると理解を求めたところである。



吊橋撤去工事の現地調査

〔質疑〕農業集落排水事業について、現在すでに個人で浄化槽をもっていて、水洗化している家庭があった場合は今回の排水につながりなくともいいのか。

〔答弁〕現在浄化槽を設置している方も農集排の方についていたただかなければならない。ただ、工事的には既存のものを活用して農集排に切り替えて、いなくなった浄化槽を埋めるなどという処理をして費用的には安くなると考えている。

〔質疑〕水道事業について、石綿セメント管工事は今年度で終わるのか。

〔答弁〕石綿セメント管工事は現在1千71メートルほどある。平成18年度の予算の中で、白川内堀地内配水管切替工事を予定している。その他に実際にどこに入っているのかわからないところもあるので、それについては、漏水の場合に石綿セメント管が出た場合には、撤去して随時交換していききたい。